

懇談会の趣旨と開催スケジュール

1 懇談会の主旨

この懇談会は、県民一人ひとりが森林づくりについて考え、県民全体で森林を守り育てるための新たな県民参画のあり方について、幅広く意見を聴くために設置されたものです。

懇談会として意見を取りまとめ、県に提言していただき、県はその提言を施策に反映させていきたいと考えています。

2 これまでの経過

平成 15年 1月に「森林との共生」の理念に基づく循環型社会の形成に向けて、林業部門の長期計画である「つつくしま森林・林業・木材産業振興プラン21」を策定しました。プランには、森林を県民全体で守り育てていくための新たな財源の検討が盛り込まれています。

平成 14年 12月、「森林整備のための新たな財源に関する研究会」を農林水産部内設置し、県内の森林整備状況や森林所有者等の意向調査、先進県での取組状況等の調査を実施し、次のように中間的な取りまとめを行いました。

中間的な取りまとめ

森林・林業・農山村の現状

木材価格の長期低迷等による林業の衰退、森林所有者による森林管理意欲の衰退。農山村の過疎化・高齢化、森林と人の絆の希薄化、森林を中心とした文化の衰退。森林管理放棄による森林の荒廃等。

農山村や森林所有者の活力の衰退

森林の環境悪化や公益的機能の衰退

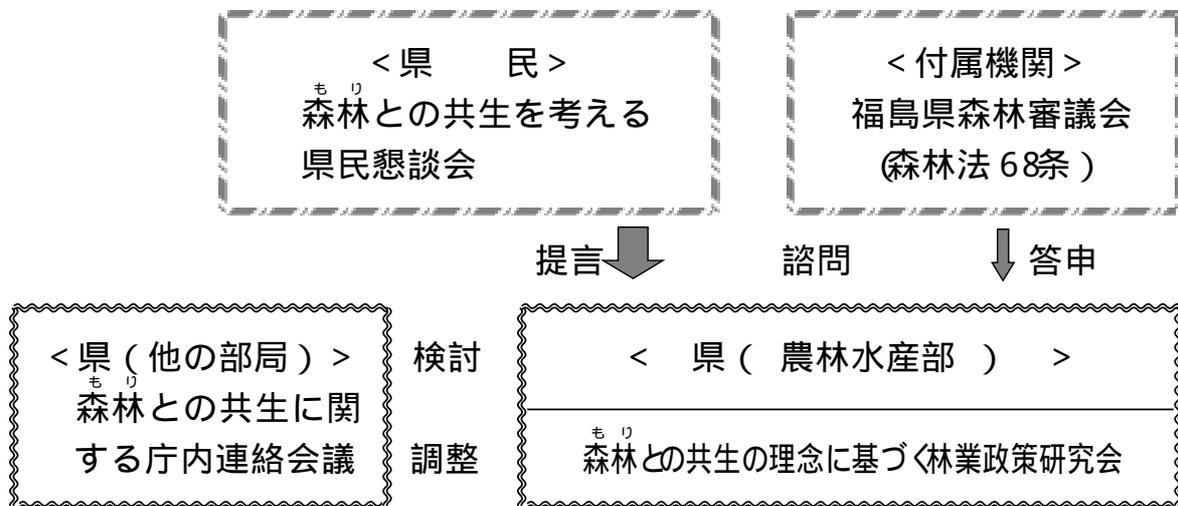


県民が参画する森林づくり

「森林との共生」の理念に基づく循環型社会の実現に向けて、森林・林業・木材産業の持続的な発展を図るとともに、県民の暮らしの中に「結いのしくみ」に代表される人と人の絆や森林と人の絆、さらには森川海など地域間の絆の再生を図り、活力ある福島県を創造するため、県民が参画する森林づくりを進める必要があります。

森林づくりを進めるための財源については、県民に森林の大切さを知ってもらい、みんなで守り育てるとい意識を啓発する見地から、県民の意見を幅広く聴くとともに、全庁的な検討調整を行い決定していくことが適当であると考えています。

3 懇談会等の関係図



4 開催スケジュールについて

第 1回懇談会 15年 12月 25日	県民懇談会の主旨と今後のスケジュールの説明 森林・林業を巡る情勢の説明 意見交換
第 2回懇談会 15年度中	県民全体で森林を守り育てるための施策や県民参画 のあり方をテーマに意見交換
16年は 4回程度 ・ ・ ・	意見交換など ・ ・ ・